

| 項目   | 確認事項  | 届出内容   |
|------|---|--|
| 基本情報 | 大学等名1(代表大学等)  | 法政大学   |
|      | 大学等名1(代表大学等)※カナ   | ホウセイダイガク   |
|      | 大学等名1(代表大学等)学校所在地   | 東京都  |
|      | 大学等名1(代表大学等)学校種別  | 私立大学   |
|      | 大学等名2(連携大学等)  |  |
|      | 大学等名2(連携大学等)学校所在地   |  |
|      | 大学等名2(連携大学等)学校種別  |  |
|      | 科目名   | キャリア体験事前指導・キャリア体験学習  |
|      | 学部・研究科等名  | キャリアデザイン学部   |
|      | 担当教職員名・役職   | 酒井理・教授   |
| 基本情報 | 受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数  | 25   |
|      | 受入企業等数  | 9  |
|      | 受入企業等名  | カシオ・マーケティングアドバンス、ノヴァレーゼ、IKEA、ぐるなび、プラスミックPFC、リンクアンドコミュニケーション、NPOじゆう未来クラブ、ICC国際交流委員会、イツココミュニケーションズ   |
|      | インターンシップの分類   | 1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ<br>3.海外インターンシップ<br>5.他県をまたぐ広域インターンシップ<br>6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ<br>8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ<br>9.中小企業でのインターンシップ  |
|      | 上記以外のインターンシップの分類(記述欄)   |  |
| 要素①  | 1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。  | 1.はい   |
|      | 1-2.該当する就業体験  | 1.企業等における業務への従事  |
|      | 1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)  |  |
| 要素①  | 1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)   | 初日に仕事と企業の概要説明を必ずやらせてもらうことを願っている。そのあとは、職業観の涵養を目的としているので、特別な企画をやったり課題解決のグループワークではなく、できるかぎり日常業務に従事することを企業には願っている。ただし、日常業務でそのような仕事がある場合は、その限りではない(雑誌編集の企画など)。  |
| 要素②  | 2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。                                | 1.はい   |
|      | 2-2.該当するインターンシップの内容   | 3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している<br>5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している<br>7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している<br>8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している   |
|      | 2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)   |  |
|      | 2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)  | 2年次以上  |
|      | 2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)  | 4単位  |
| 要素②  | 2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)   | 後期に経験の振り返りを行うので、夏季休業中(後期開始前まで)に行うことが条件。ただし長期インターンシップをおこなう場合は、授業期間中も断続的にいく学生はいる。  |
| 要素③  | 3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。 | 1.はい   |
|      | 3-2-1.該当する事前学習の内容   | 1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている<br>2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている<br>3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている<br>4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している |
|      | 3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)   |  |
|      | 3-2-2.該当する事後学習の内容   | 1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている<br>3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている  |
|      | 3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)   |  |
|      | 3-2-3.該当するモニタリング  |  |
| 要素③  | 3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)   |  |

|        |  |  |
|--------|--|--|
|        | 3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)   | 事前指導は、働くことをしっかり考えるグループワークと、体験に臨む意識と考え方を整理するため、一人20分の個別面談を行う。   |
|        | 3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)   | 事後は経験の振り返りを目的に一人20分の面談を行う。学生が話すのではなく、経験を掘り下げたための教員との問答形式でなぜそうしたか、なぜそう考えたか、自分の行動を掘り下げる。   |
|        | 3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)   |  |
| 要素④    | 4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。                      | 1.はい   |
|        | 4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み  | 1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている<br>2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている  |
|        | 4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)  |  |
|        | 4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)  | インターンシップの事前には、仕事の意識に関してレポートを提出させる。インターンシップの事後には経験を振り返り、自らの考えをレポートにまとめる。年4回(事前授業開始前、事前授業開始後[インターンシップ開始前]、事後授業開始時[インターンシップ実施後]事後授業終了時)、教員が作成した独自の測定項目を使って、学生の態度・意識を測定する。 |
| 要素⑤    | 5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。                      | 1.はい   |
|        | 5-2.該当する実施期間   | 1.連続した5日間以上の実施期間を確保している  |
|        | 5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)   | 国内2週間 海外4週間  |
|        | 5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)                                 |  |
|        | 5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)                                  |  |
|        | 5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)  |  |
|        | 5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)  | かならず同じ会社で5日以上就業体験をおこなうことを課している。  |
| 要素⑥    | 6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。 | 1.はい   |
|        | 6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容   | 1.企業や産業界にとつての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している<br>3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている<br>4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している                   |
|        | 6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)                                       |  |
|        | 6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)  | どのような受け入れをしてくれるのか、どのような就業体験を学生ができるのかを事前に打ち合わせる。大学がどのようにプログラムを組み多々ているのかを企業に説明し、プログラムの全体像を共有する。  |
|        | 7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL         | キャリア体験事前指導 <a href="https://bit.ly/2Um5JRU">https://bit.ly/2Um5JRU</a> キャリア体験学習 <a href="https://bit.ly/2GYRhfA">https://bit.ly/2GYRhfA</a>                            |
| 問い合わせ先 | 大学等名   | 法政大学   |
|        | 担当部署名  | 学務部教学企画課   |
|        | 担当者役職名   |  |
|        | 担当者氏名  | 湯山 颯太  |
|        | 電話番号   | 03-3264-9076   |
|        | メールアドレス  | gakumu@hosei.ac.jp   |